おれんじ

第30号　2023年　12月
発行　社会福祉法人グロー
～生きることが光になる～
能登川作業所
〒521－1225
滋賀県東近江市山路町614
（電話・FAX）0748－42－5880

10月21日の土曜日。比良山系から吹き降ろし、琵琶湖をビュービューと渡ってきた風に恵まれる中（簡単に言うと強風）、おおきなほほえみまつりは開催されました。

能登川作業所の皆さんは、事前準備から当日運営まで、持てる力をたくさんに発揮してくれました。B型の皆さんは、各ブースの特大看板作り、スリッパ拭き、当日の駐車場案内、ごみステーションのメンテナンス。生活介護の皆さんは、特大看板への絵付けや会場を華やかにするガーランドを総動員で作ってくれました。

いきなりファッションショーには、齋藤静佳さん、職員の西澤さん親子、里田如さんのお母様里田京子さんが出場。フリーモデルのkanonさんのウォーキングをお手本に、みなさん颯爽とランウェイを歩きました。

おおきなほほえみまつり

のどとからだ自慢大会に、能登川作業所からは3組が出演。幕開けを飾ったけん玉男子は、終了後のインタビューで福永圭吾さんが放った「一発で決めました!!」の一言が会場を沸かせました（何度も再チャレンジしていた姿を見たのは気のせいだったのでしょう）。「パプリカ」を歌った大橋史津子さんは、キャンディーのような歌声と新調したヒラヒラのワンピースで、キュートを皆さんにお届けしました。トリを飾った山路瑞希さんのダンス「オトナブルー」には会場にいる誰もがその世界に引き込まれました。驚くほどキラキラしていて、こんなに人が輝くことがあるのかと目を疑い何度か見直しましたが、何度見ても輝いていました。岳侑美希さんはコメンテーターとして一組一組に温かいコメントを寄せてくれました。

最後に。おまつりを本格的なものにしてくださり、盛り上げてくださった、ゲストのSAYALAさん、kanonさん、司会の奥村歩さん、音響を引き受けてくれたチームエンパワーメントの皆様、マルシェにご出店いただいた皆様、本当にありがとうございました。（田端）

やっぱり楽しいよ
バス旅行

名古屋港水族館

日帰りバス旅行、今年は県外！名古屋に行ってきました。「服買いにいったわ」「新しいカバンで行くの」。やっぱり行く前からわくわくです。B型利用者はバス内でのゲームを企画・準備、生活介護はお菓子の買い物・袋詰めなど、出来る範囲で準備も参加してくださいました。

バス～カラオケ大会～

まずはB型利用者による『○×ゲーム』。問題をよみあげられると「どっちなんだい！」(きんにくん風に)とつっこむ声に大盛り上がり。そのあとは『カラオケ大会』。噂に聞いていた「桃色吐息」にミスチル「はなび」他、のど自慢たちの多さに「歌い終わる前に名古屋に着くんちゃう」と心配するほどでした。

トイレ休憩に立ち寄るサービスエリアも楽しみの１つで、アンケートで一番楽しかったのが大型バスと答えられるのも納得です。

東山ガーデン～海のみえるレストラン～

大きな窓から海の見えるレストランで「季節の割子弁当」と「八丁味噌カツ膳」をいただきました。どちらも本場のきしめん付きです。ご当地グルメを堪能。一堂に会すると、あちこちから笑い声が聞こえる楽しい食事の時間となりました。

水族館～イルカショー・お買い物～

水族館の楽しみ方は人それぞれ…。イルカショー、ペンギン、カメと生き物を楽しむグループ。自分にネックレス、イルカのぬいぐるみ、家族にお菓子を買って大満足な人。のんびりと館内を散策しベンチでコーヒーを楽しむ人。それぞれのペースで水族館を楽しみました。

近江八幡ボーダーレスアートミュージアムNO-MAで行われている「触の祭典ユニバーサルミュージアムさわる！めぐる物語」の企画で作家渡辺泰幸氏の陶の鈴と作業所の織りのコラボ商品作製のお話をいただきました。

織り手の力加減で風合いがかわる個性あふれる商品は大好評。追加につぐ追加で合計８０個の土鈴ストラップを納めさせてもらいました。

会期は１２月１７日までです。ご興味のある方はぜひお急ぎください！

10月支援計画更新しました

お一人ずつ前回の目標に対してのモニタリング（評価）と新しい目標について説明を行いました。新しい支援計画の目標については、あと少しの工夫で達成できそうな事や「芽生え」ている部分を大切にして職員間で話し合い決めました。今期も目標達成に向けて頑張っていきたいです！

（井上）

＊編集後記＊久しぶりにNHK大河ドラマにはまっています。「どうする家康」ある利用者さんが見られていて時々お話をするのが楽しみです。それにしても滋賀県は歴史の要所が多く実に魅力的なところです。（田中）